

科目名	地域経済産業論 Regional Innovation		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・火・4 限	秋・火・5 限	-	-
担当教員名	秦 信行	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>地方創生が現状日本の大きな課題の一つとなっている。不振が続いている地域経済の原因を明らかにすると同時に、その活性化に向けた対策を議論していきたい。</p> <p><到達目標></p> <p>地域経済を活性化する方策として何があるのか、現状の幾つかの事例を参考にしながら具体的な施策を提案することを目的としたい。</p> <p><ゲストスピーカー招聘></p> <p>地方創生に向けて活動している地方自治体の幹部の人や、地域での経済活性化に向けて活動している企業経営者など 2 人程度にお願いしたいと考えている。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 回目：イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：教員及び学生諸君の自己紹介に加えてこの講義の内容や進め方の提示する <p>2 回目：地方消滅は事実か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：地域経済の現状の問題点・課題について各種データ及び資料から説明し議論する <p>3 回目：産業集積の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：産業集積及び産業クラスターの経済的な意味・意義を考える <p>4 回目：企業城下町の現状と新しいクラスター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：過去の企業城下町の現状及び 2000 年以降の新しいクラスターの状況を考える <p>5 回目：ゲストスピーカーの話（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：ゲストスピーカーの話をお聞きした上で質疑応答し議論する <p>6 回目：日本の中小企業と地域経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：日本の中小企業の課題を明確にし、そのことの地域経済への影響を考える <p>7 回目：大学発ベンチャーの動向と地域経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：大学発ベンチャーの叢生に必要なものは何か、その地域経済への影響を考える <p>8 回目：地方創生に向けた政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：地方創生に向けてどんな経済政策が取られているのか、その効果はどうかを考える <p>9 回目：グローバル化と地方経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：地方経済のグローバル化の現状と今後の方向性を考える <p>10 回目：地方企業の株式公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：地方企業の上場がこの所減少している背景と増加に向けた対策を考える <p>11 回目：ゲストスピーカーの話（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：ゲストスピーカーの話をお聞きした上で質疑応答し議論する <p>12 回目：地方創生に向けた事例紹介（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：地方創生に向けて成果を上げている事例の紹介をグループで発表してもらう <p>13 回目：地方創生に向けた活動（2）</p>				

・要点：地方創生に向けて成果を上げている事例の紹介をグループで発表してもらう

14 回目：地方創生に向けた施策

・要点：地方創生には結局今何が必要なのか、事例を踏まえて議論する

15 回目：まとめ

・要点：15 回の講義を通して学んだ点を整理する

<講義の進め方>

クラスの数にもよるが、基本的には事前に配布するレジュメを基にした講義を進める中で教員から学生諸君に質問等を投げかけ、全員で議論する形で進めたい。途中で学生諸君に課した課題の発表をしてもらい、その内容について議論することも考えている。

<事前事後学習内容>

指定した教材やレジュメを読んで要点を整理・理解しておくこと。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習にはそれぞれ2時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示する。

<教科書及び教材>

教科書ではないが、富山和彦『なぜローカル経済から日本は甦るのか』PHP 新書は、必ず事前において欲しい。

<参考書>

富山和彦・増田寛也『地方消滅 創生戦略篇』中公新書

増田寛也編著『地方消滅』中公新書、日本経済新聞編『地方崩壊 再生の道はあるのか』

大滝義博・西澤昭夫編著『大学発バイオベンチャー成功の条件-「鶴岡の奇跡」と地域 Eco-system』

西澤昭夫他『ハイテク産業を創る地域エコシステム』

清成忠男・橋本寿朗編著『日本型産業集積の未来像』

<成績評価方法>

クラス貢献度、課題レポートの評価、グループ発表の評価を5:3:2の比率で評価する。尚、欠席6回以上の学生の成績評価はしない。

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

講義、SNS サークルにて全体に対するフィードバックを行う。

<履修条件>

特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー>

恐縮ですが事前の appointments をメールで取っていただきたい。

<その他>

ゲストスピーカーの招聘にあたっては、その方の都合により昼夜合同講義にする場合があるので了解しておいて頂きたい。